

2015年10月

第57回日本臨床細胞学会総会（春期大会）ならびに

The 19th International Congress of Cytology（ICC2016）

開催概要（第2次）

第57回日本臨床細胞学会総会（春期大会）ならびに The 19th International Congress of Cytology（ICC2016）を下記の要領で開催させていただきます。現在までに決定しているプログラムについてお知らせいたします、今後も本誌およびホームページを通じまして皆様にお知らせしてまいります。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

会期：

第57回日本臨床細胞学会総会（春期大会）：2016年5月27日（金）～5月29日（日）

ICC2016：2016年5月28日（土）～6月1日（水）

会場：パシフィコ横浜

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1

TEL：045-221-2155 FAX：045-221-2136

会長：青木 大輔（慶應義塾大学医学部産婦人科学教室）

テーマ：New Innovative Technologies Changing Cytology

共同主催：日本学術会議

ホームページ

第57回日本臨床細胞学会

<http://www.cytologyjapan2016.com/japanese/index.html>

ICC2016

<http://www.cytologyjapan2016.com/>

プログラム委員長：進 伸幸（慶應義塾大学医学部産婦人科学教室）

事務局：〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35

慶應義塾大学医学部産婦人科学教室

富永 英一郎 (事務局長)

運営事務局：株式会社コングレ

〒102-8481 東京都千代田区麴町 5-1

TEL : 03-5216-5318 FAX : 03-5216-5552

E-mail : icc2016@congre.co.jp

演題登録について

演題登録開始 (ICC2016)	2015 年 9 月 10 日
(第 57 回春期大会)	2015 年 10 月 20 日
演題登録締切 (ICC2016)	2015 年 12 月 10 日
(第 57 回春期大会)	2015 年 12 月 24 日

参加登録について (インターネットによる登録)

参加登録開始	2015 年 10 月 15 日
早期参加登録締切	2016 年 4 月 15 日
事前参加登録締切	2016 年 5 月 19 日

1. ICC2016 および第 57 回日本臨床細胞学会春期大会の共通参加証を発行いたします。それぞれの学会参加証は発行しません。
2. インターネットによる参加登録を推奨しております。
3. 事前参加登録締切を過ぎると参加当日の登録になります。
4. 医師以外の会員向けに one day チケットを発行します。各個人に 1 回のみ発行となります。
5. 参加登録費が決定しました (早期参加登録費はそれ以外の参加費と異なりお安くなります)。
6. 演題登録についての案内が更新されました。

以上につきまして詳細は学会 HP をご覧ください。

宿泊について

宿泊申込み開始	2015 年 9 月 28 日
宿泊申込み締切	2016 年 4 月 28 日

【特別講演等】

ICC 2016 (第 19 回国際細胞学会議)

Plenary Lecture 1

Practice of cytopathologist at FNA clinic: A new approach for patients (Tentative)

David B. Kaminsky (Palm Springs Pathology Services, USA)

Plenary Lecture 2

Type 1 and type 2 cervical carcinomas: Some cervical cancers are significantly more difficult to prevent with screening

R. Marshall Austin (Magee-Womens Hospital of University of Pittsburgh Medical Center, USA)

Keynote lecture 1

Role of fine needle biopsy cytology in the developed and developing world

Andrew S. Field (University of Notre Dame Medical School / Department of Anatomical Pathology, St Vincent's Hospital, Sydney, Australia)

Keynote lecture 2

Cytology diagnosis followed by molecular genetic test in lung cancer

Liu Dong-ge (Beijing Hospital, China)

Keynote lecture 3

Cytology services in the mid-income trapped country: Thailand's experience

Samreung Rangdaeng (Department of Pathology, Faculty of Medicine, Chiang Mai University, Thailand)

Keynote lecture 4

Role of the pathologist in the management of breast cancer

Fernando Schmitt (Laboratoire National De Sante, Luxembourg)

Presidential guest lecture 1

Biology and clinical significance of HPV (Tentative)

John Doorbar (University of Cambridge, UK)

Presidential guest lecture 2

Systems Medicine approach in leukemias and solid tumors (Tentative)

Olli Kallioniemi (Science for Life Laboratory, Karolinska Institutet, Sweden / Institute for Molecular Medicine FIMM, Finland)

第 57 回日本臨床細胞学会総会 (春期大会)

特別講演 1 新たな時代を迎えたがん免疫療法 Cancer Immunotherapy comes of age

河上 裕 (慶應義塾大学医学部先端医科学研究所細胞情報研究部門 教授)

特別講演 2 がん関連マイクロ RNA の探索と診断・治療への応用

稲澤譲治 (東京医科歯科大学難治疾患研究所 教授)

招請講演 1 癌幹細胞研究の現状

森 正樹 (大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学 教授)

- 招請講演 2 細胞内分解系オートファジーのメカニズムと役割
水島 昇 (東京大学医学系研究科分子生物学分野 教授)
- 要望講演 1 がん検診精度管理の考え方
斎藤 博 (国立がん研究センター 検診研究部 部長)
- 要望講演 2 リンパ腫：最近の進展
吉野 正 (岡山大学 病理学 教授)
- 要望講演 3 肝発がんのエピゲノム機構
金井弥栄 (慶應義塾大学医学部病理学 教授)
- 要望講演 4 肺癌 WHO 分類(2015)に基づく新たな呼吸器細胞診
佐藤之俊 (北里大学医学部呼吸器外科学 主任教授)

第 57 回日本臨床細胞学会総会 (春期大会)
The 19th International Congress of Cytology
会長 (Congress President) 青木 大輔